

サービスの計測に対する需要調査の概要（案）

資料 1

サービスの計測に対する国民的需要を把握し、
統計整備が急がれるサービス分野の優先順位付け及びサービスの計測に関する課題の整理を行う

調査対象

- 大学などの研究機関に属する研究者
- シンクタンク研究員・経営コンサルタント
- 金融機関の調査・企画部門担当者、証券アナリスト
- 一般事業会社の企画部門担当者
- 企業経営者
- マスメディアの記者等
- 国家公務員・地方公務員

調査事項

【アンケート調査】

有効回収数 3,500人

- 調査対象の属性
- 重要なサービス産業
（生活の質の向上、経済・科学技術等の発展、社会情勢の変化、提供量不足等の観点）
- 統計整備の優先度が高いサービス産業及び要把握項目
- 統計整備に関する意見・要望

集計事項

- 観点別に重要と考えられているサービス産業
- 統計整備の優先度が高いと考えられているサービス産業・項目等
（それぞれ調査対象の属性別に集計）

【ヒアリング調査】

12人程度選定

- 既存統計の利活用状況
- 諸外国との比較が困難なサービス活動
- アンケート調査の回答内容の詳細
（統計整備の優先度が高いサービス産業とその理由、統計整備に関する意見・要望）
- 必要とされいながら、現在把握できていないサービス活動
- 現在把握されているが、実態と乖離していると考えられるサービス活動
- 個別のサービス活動について有効性を評価すべき政策・現在問題となっている事項

分析事項

- 重要と考えられているサービス産業の順位付け
- 統計整備の優先度が高いと考えられているサービス産業及び項目の順位付け
- サービスの計測に関する課題の整理

国民的需要を定量的に評価

既存統計の有無、実現の難易度を考慮

サービスの計測に関する検討会にて、調査結果を踏まえ、優先度が高いものから検討